

**製品名: カルレティキュリンウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21533**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:48kD;Observed MW:55kD

**抗原情報**

遺伝子名	CALR
別名	CALR;CRTC;Calreticulin;CRP55;Calregulin;Endoplasmic reticulum resident protein 60;ERp60;HACBP;grp60
遺伝子 ID	811.0
SwissProt ID	P27797
免疫原	ヒトカルレティキュリンの合成ペプチド

**背景**

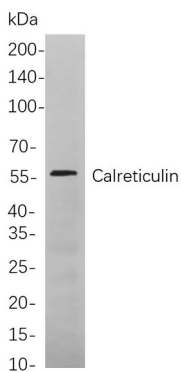
細胞局在: 細胞質。カルレティキュリンは、小胞体腔内において主要な Ca(2+)結合 (貯蔵) タンパク質として機能する多機能タンパ

ク質です。また、核内にも存在することから、転写調節に関与している可能性が示唆されています。カルレティキュリンは、核内受容体スーパーファミリーの DNA 結合ドメインのアミノ酸配列とほぼ同一の合成ペプチド KLGFFKR に結合します。カルレティキュリンは、全身性エリテマトーデスおよびシェーグレン症候群患者の特定の血清中の抗 Ro/SSA 抗体を含む抗体に結合します。種間で高度に保存されており、カルシウムと結合する可能性のある小胞体および筋小胞体に局在します。カルレティキュリンのアミノ末端はグルココルチコイド受容体の DNA 結合ドメインと相互作用し、受容体が特異的なグルココルチコイド応答エレメントに結合するのを阻害する。カルレティキュリンはアンドロゲン受容体のその部位への結合を阻害することができる。

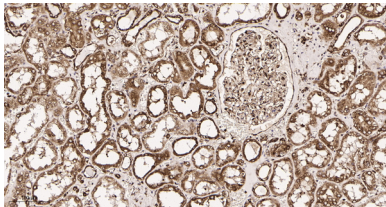
## 研究分野

-

## 画像データ



NIH-3T3 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。カルレティキュリンウサギ mAb を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト腎臓組織の免疫組織化学分析。1、カルレティキュリンウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。